

鹿子舞と木材産業との関係性の考察及び 伝統芸能の継承について

(株)細畑林業 細畑 利典

研究の背景・目的

・町の無形文化財に指定されている鹿子舞は地域や基幹産業である農林業と深いつながりがありますが、人口減少に伴い会員の高齢化と後継者の確保が慢性的な課題となっていたところ、学校祭で生徒達が鹿子舞を実演することができないか中学校の先生より打診を受けたことをきっかけに、木育活動の一環として関係者の協力を得ながら、伝統芸能の継承に取り組みました。

当路鹿子舞



ヒバ流送の歴史（江差檜山屏風）



研究内容・課題

- ①4団体ある鹿子舞のうち、当路地区に伝わる当路鹿子舞保存会に協力を得られるか打診しました。
- ②本番1か月前から練習を取り組みました。
- ③演技は8分でまとめることが目標でした。
- ④完成度を向上させるための手段として、演技のパートと全体の流れを動画で撮影しSNSを利用することで、自主練習の役に立つか試みました。

練習風景



厚沢部中学生1年生による学校祭での実演風景



SNSの活用



動画

当路鹿子舞(8分)

今後の展開

・生徒の演技習得は想像以上に早く驚きました。また、木育活動の一環として学校で林業の話をする際は鹿子舞の画像を使用し、ヒバの伐採や流送などの歴史に触れていましたが、今後は動画やSNSを有効活用することで、より生徒に地域や木材産業について関心を持ってもらえると感じました。